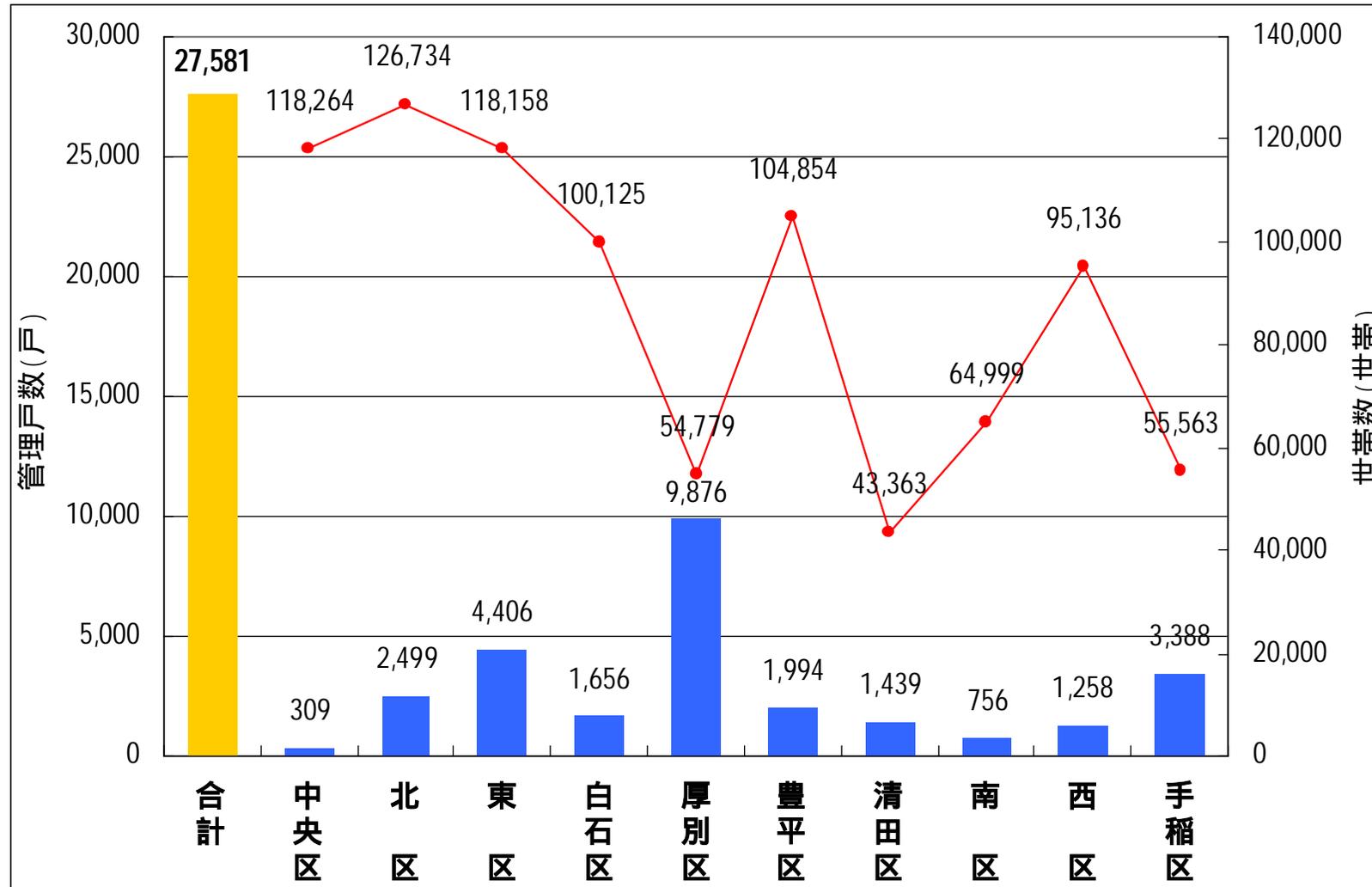


市営住宅の現状

平成21年12月16日
札幌市住まいの協議会事務局

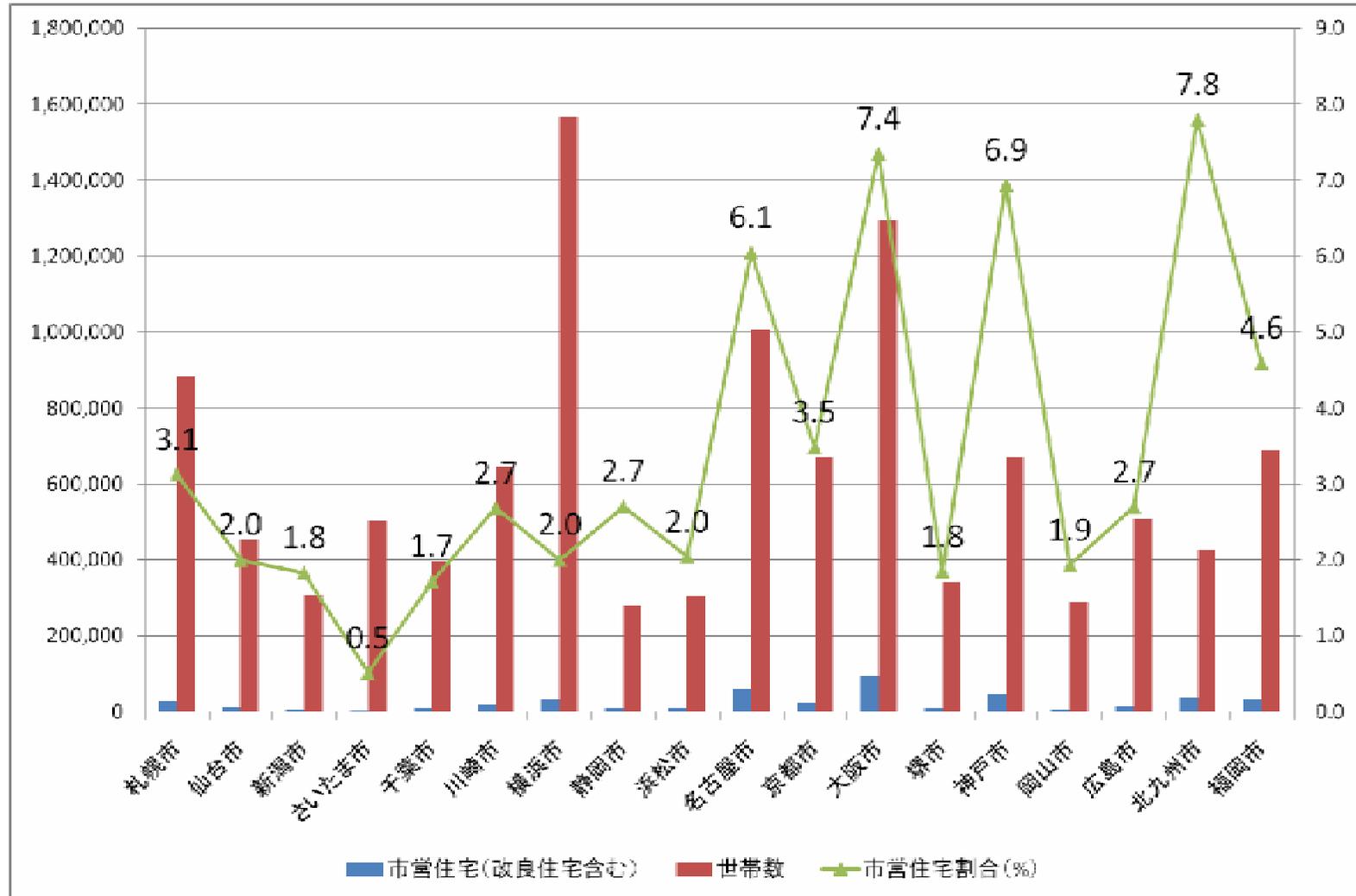
(1) 区別管理戸数、全管理戸数(H20年度)



出典:札幌市調べ 世帯数はH21.4.1時点

札幌市の市営住宅管理戸数は、全体で27,581戸となっている。
 区別の戸数を見ると、厚別区が約1万戸と最も多くなっており、全体の36%を占めている。
 その他、東区が約4,400戸、手稲区が約3,400戸と多くなっている。

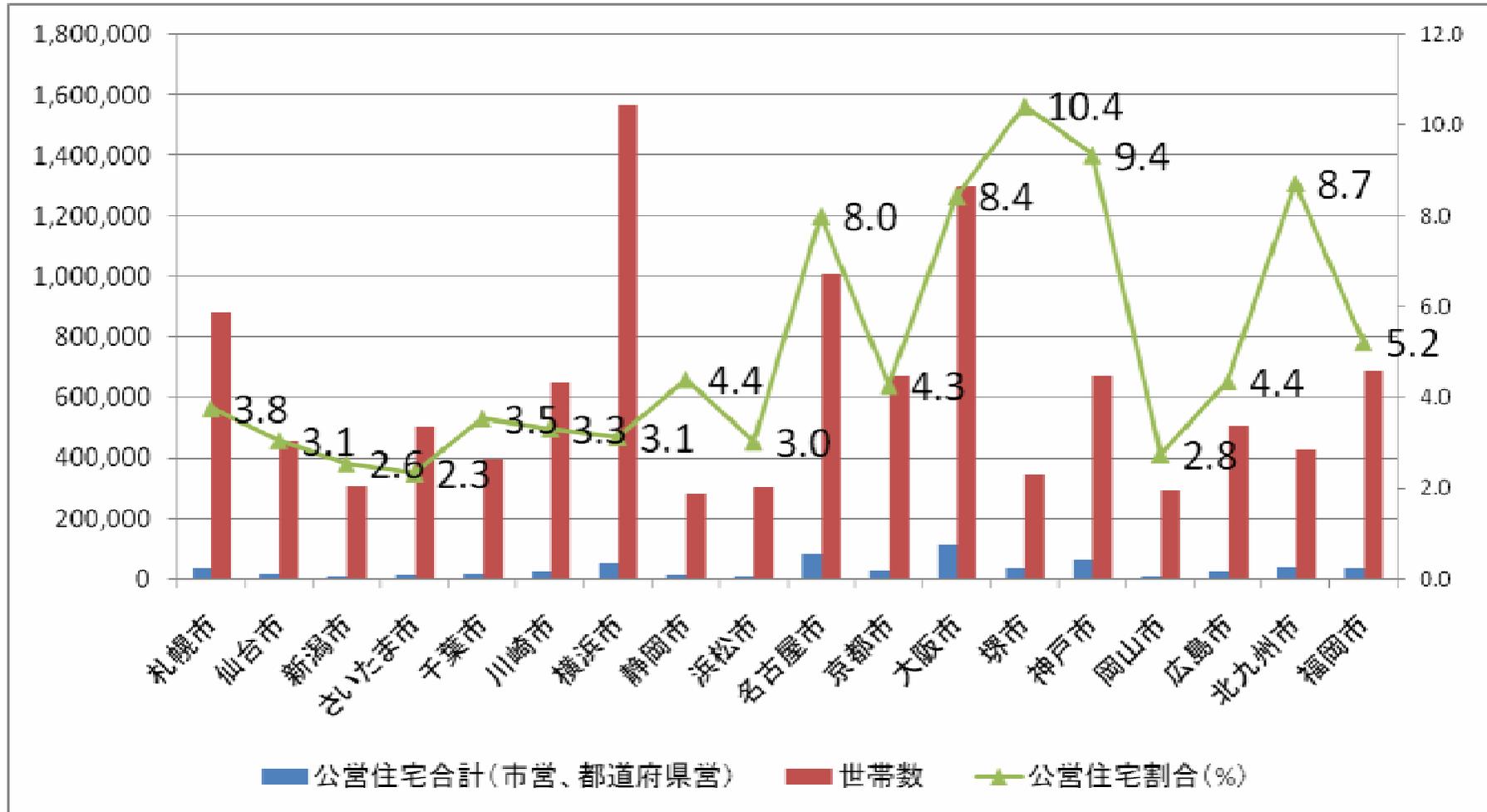
(2) 管理戸数の政令市比較 (H20年度)



出典: 札幌市調べ(H21)
各都市の世帯数は横浜市ホームページ「大都市推計人口」

札幌市の世帯数に対する市営住宅戸数割合(3.1%)は、ほぼ平均値(3.4%)である。
(市営住宅の割合が18政令都市中7番目に多い。)

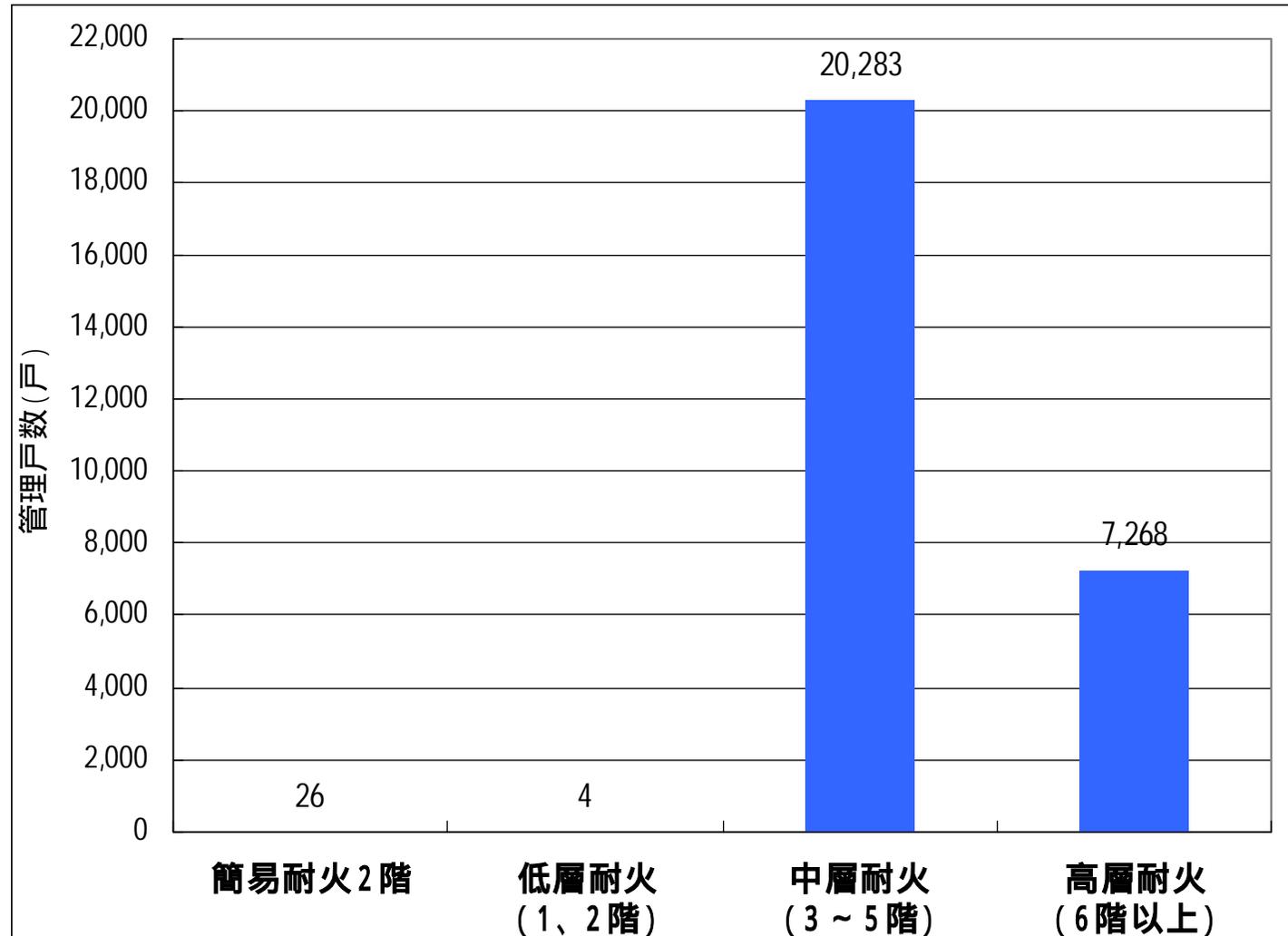
(3) 道府県営住宅を含む管理戸数の政令市比較 (H20年度)



出典: 札幌市調べ(H21)
各都市の世帯数は横浜市ホームページ「大都市推計人口」

札幌市の世帯数に対する道府県営住宅も含めた公営住宅戸数割合(3.8%)は、平均値(5.0%)より低い。(公営住宅の割合が18政令都市中10番目。他の府県に比べて道営住宅割合が低い。)

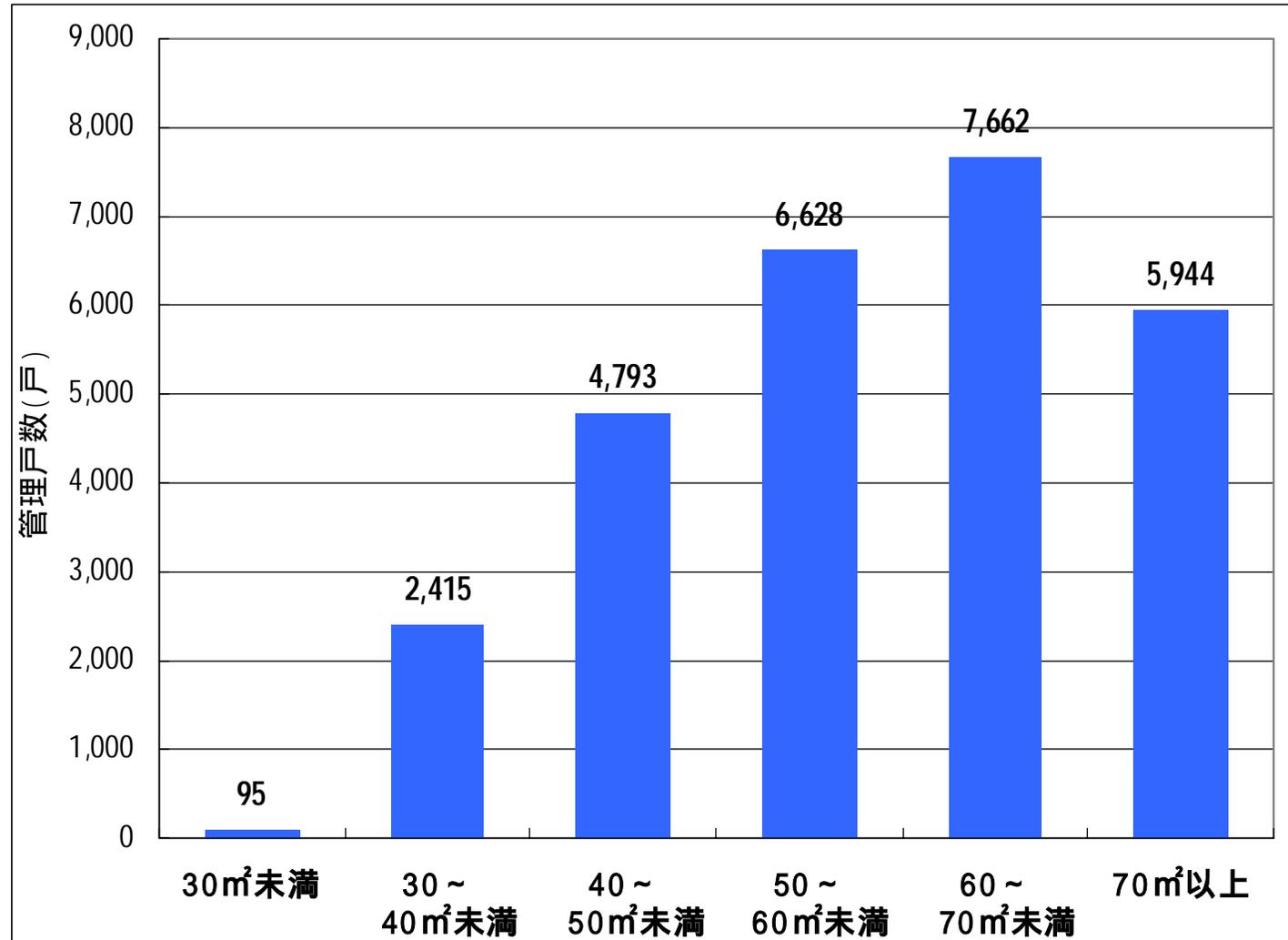
(4) 構造別管理戸数 (H20年度)



出典:札幌市市営住宅ストック総合活用計画(H18)

ほぼ全ての市営住宅が耐火構造となっている。
中層耐火構造の建物が20,283戸と最も多く、全体の74%を占めている。
その他の建物は、概ね高層耐火構造となっている。

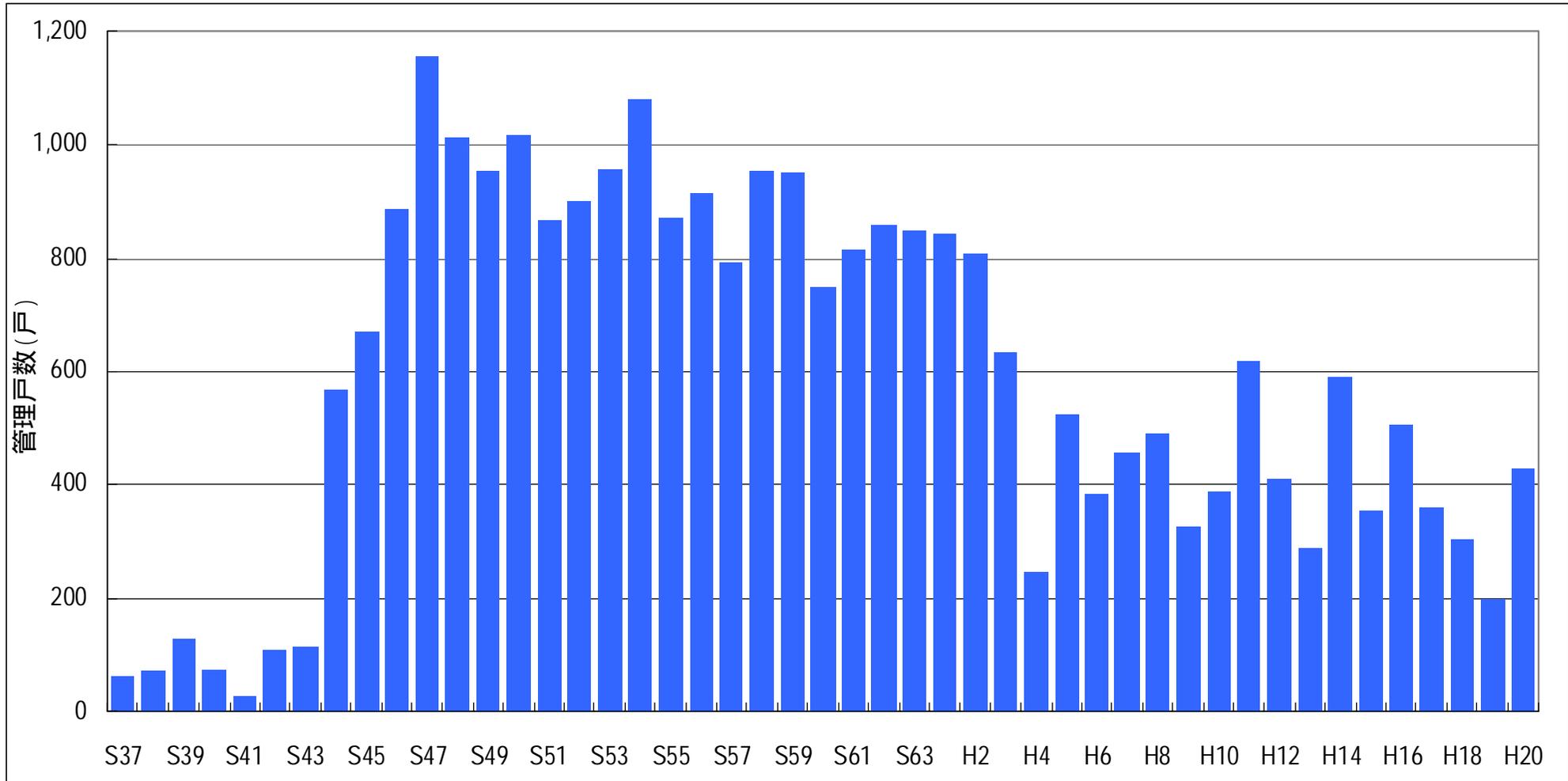
(5) 面積割合管理戸数(H18年度)



出典: 札幌市市営住宅ストック総合活用計画(H18)

市営住宅ストックのうち、60㎡以上70㎡未満が7,662戸(27.8%)と最も多く、50㎡以上60㎡未満が6,628戸(24.1%)、70㎡以上が5,944戸(21.6%)と続く。

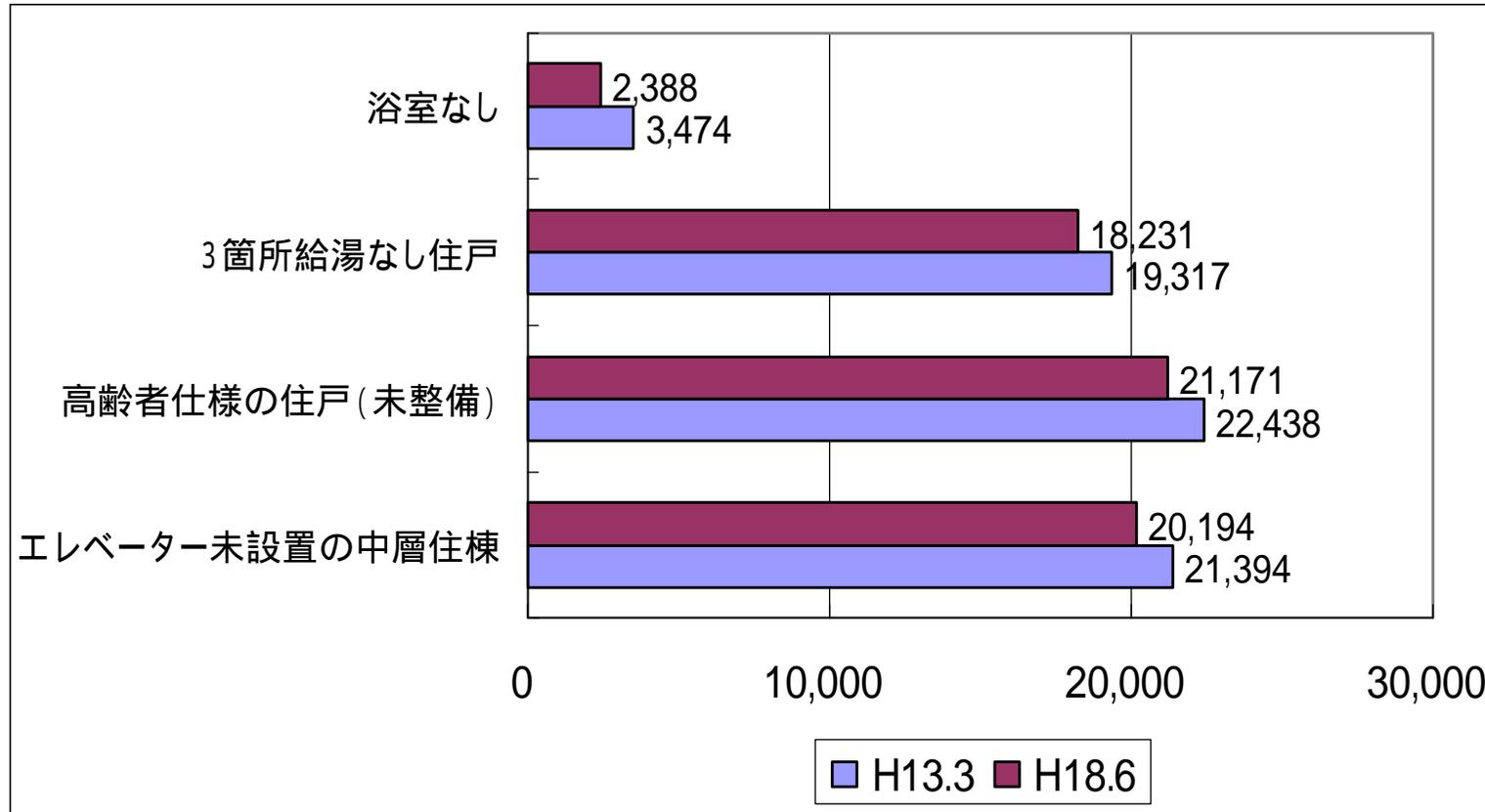
(6) 経過年数別管理戸数(H20年度)



出典:札幌市調べ(H21)

多くの市営住宅がS44(1969)年～H2(1990)年に建設され、築20年～40年となっている。
近年は、建て替えにともなう建設、借上市営住宅の供給を年間200戸～600戸程度行っている。

(7) エレベーター設置率、高齢化対応、浴室の状況(H18年度)



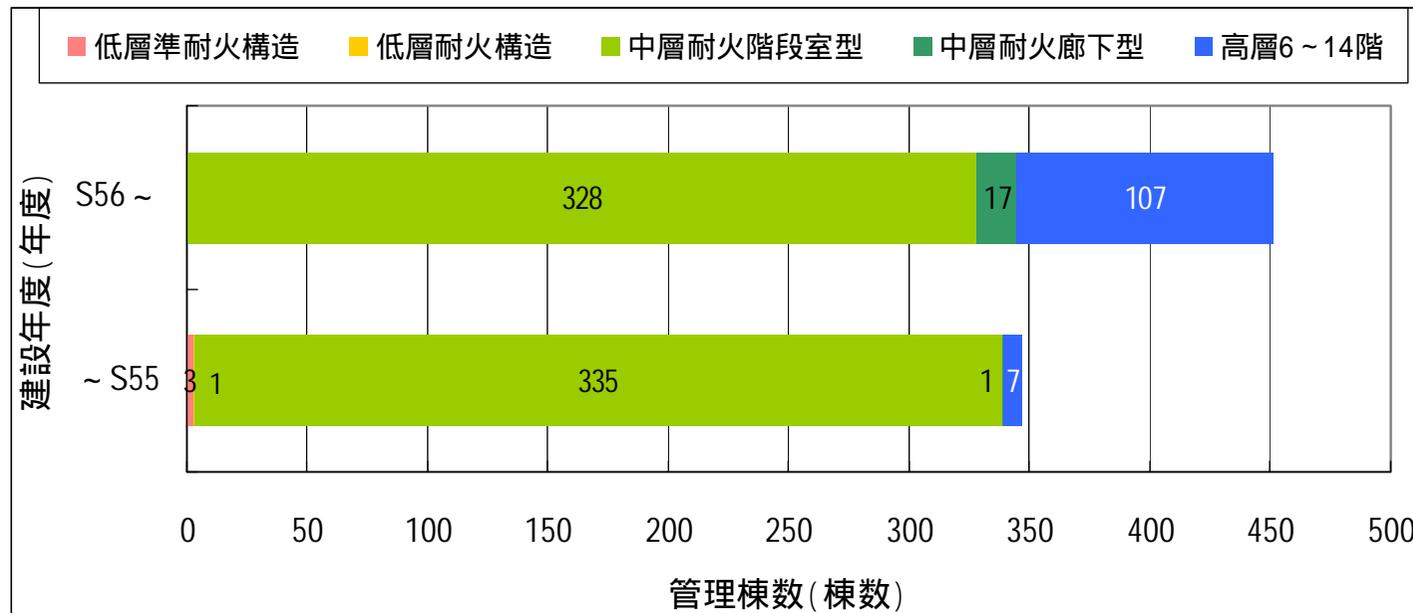
出典:札幌市市営住宅ストック総合活用計画(H18)

エレベーターの設置されていない中層住棟(階段室型 + 廊下型)は20,194戸あり、平成13年度と比較すると1,200戸減少している。

浴室なし住戸が3,474戸(13.3%)から2,388戸(8.7%)、3箇所給湯(台所、洗面所、浴室)なし住戸が19,317戸(74.2%)から18,231戸(66.2%)に減少している。

住宅内部や共用部分が高齢者仕様(手すり設置や段差解消など)となっていない住戸は、22,438戸(86.1%)から21,171戸(76.9%)へと減少している。

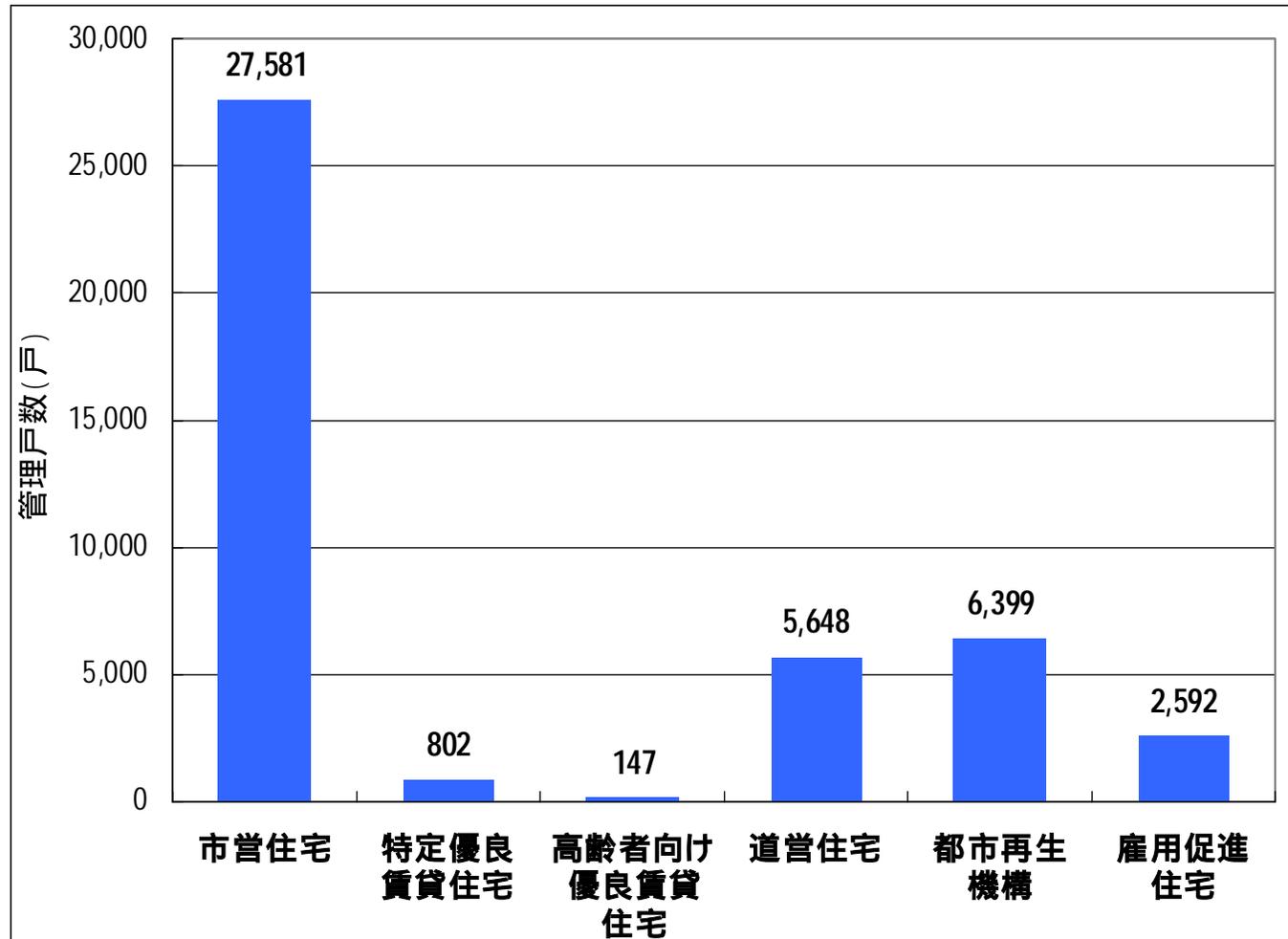
(8) 構造別・建設年度別管理棟数(H18年度)



出典: 札幌市市営住宅ストック総合活用計画(H18)

昭和56年(1981年)の建築基準法改正(新耐震基準)以前に建設された旧耐震構造の住宅が、347棟(43.4%)ある。

(9) 参考資料(市内の他の公的賃貸住宅等の市内管理戸数)(H20年度)



出典:札幌市調べ(H21)

市営住宅のほか、公的賃貸住宅等として供給されている住宅は、都市再生機構が6,399戸と最も多く、その他、道営住宅が5,648戸、雇用促進住宅が2,592戸となっている。